

# 平成27年9月期 第2四半期決算説明会

---

テーマ：EC業界を牽引し、持続的高成長を実現する

2015年5月1日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社  
(東証一部 3769)

第41回

**GMO** PAYMENT GATEWAY

<http://corp.gmo-pg.com/>

# 当資料取扱上のご注意

---

本資料に記載された内容は、2015年5月1日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

# アジェンダ

---

1. サマリー
2. 成長戦略の進捗
3. 財務ハイライト
4. 2015年9月期の業績予想

---

# 1.サマリー

# 1.1 Summary

## 好調持続、前1H比20%の増収増益、営業利益進捗率50%

### 決算概要

■売上高：	4,162百万円	(前1H比+19.4% / 進捗率48.1%)
■営業利益：	1,487百万円	(前1H比+20.1% / 進捗率50.0%)
■営業利益率：	35.7%	(前1H比+0.2ポイント)
■経常利益：	1,530百万円	(前1H比+23.2% / 進捗率51.3%)

### 事業進捗

- 新領域ECが依然好調
- PGグループ子会社等の業績好調
- 新サービスを相次ぎリリース
  - 3/05 EP 「GMOイブシロントランザクションレンディング」開始
  - 3/16 PG 「チャージバック補償団体保険」提供
  - 4/01 PG 「zei.tokyo」運用開始
  - 4/15 PG 「トークン決済サービス」提供開始
  - 4/28 PG 「GMO-PG送金サービス」本格展開
  - 5/01 PG 「多通貨クレジットカード決済サービス」提供開始

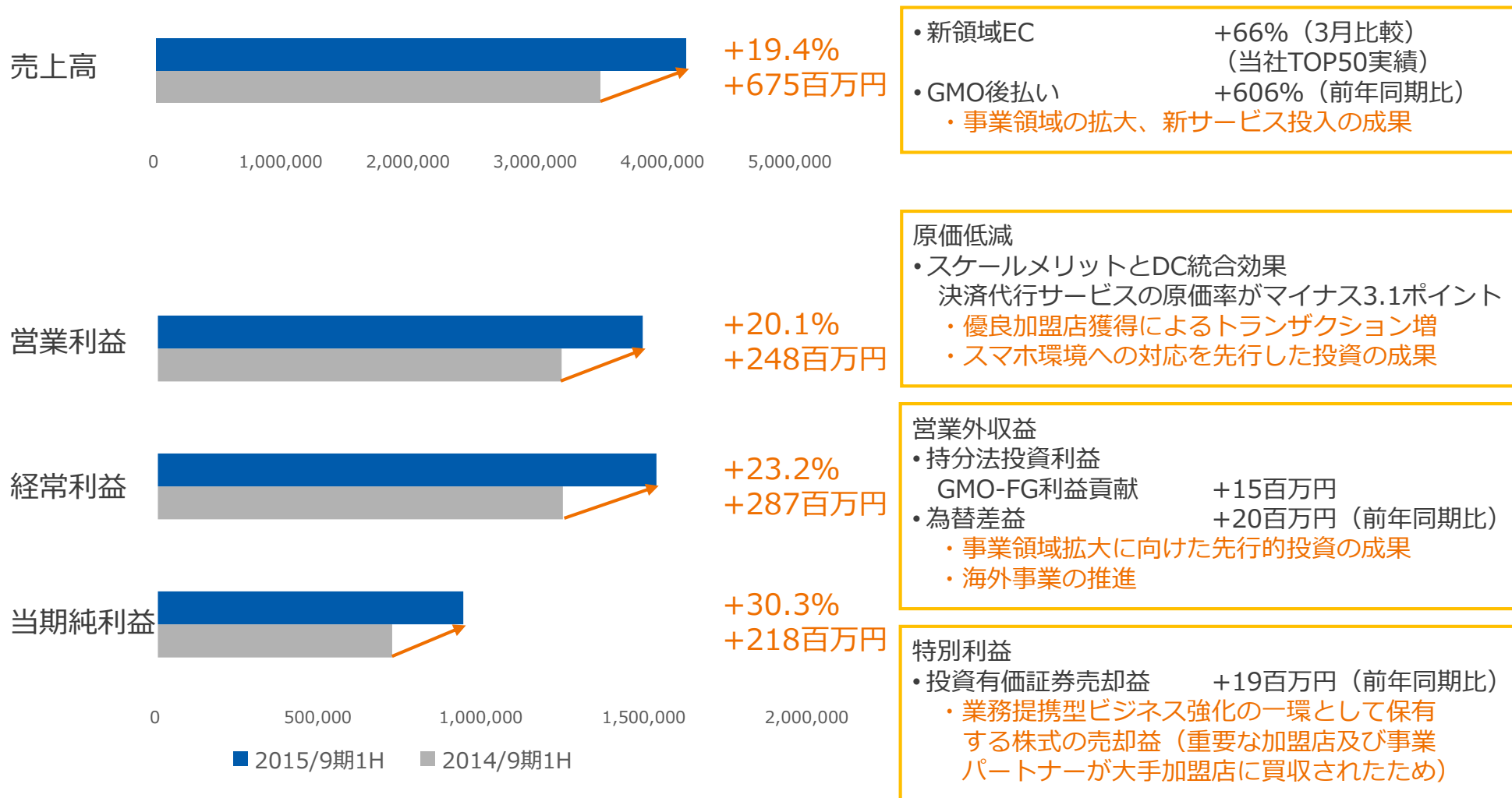
### 通期見通し

- 売上高： 8,656百万円 (前年度比+20.1%)
- 営業利益： 2,974百万円 (前年度比+20.1%)
  - ・業績好調の継続を想定するも、事業機会の増大に伴い投資フェーズは更に続くため、通期見通しは変更無し

※新領域EC：サービス・コマース・デジタルEC・CtoC など、物販EC以外の新たなEC

# 1.2 増収・増益の要因（前1H比較）

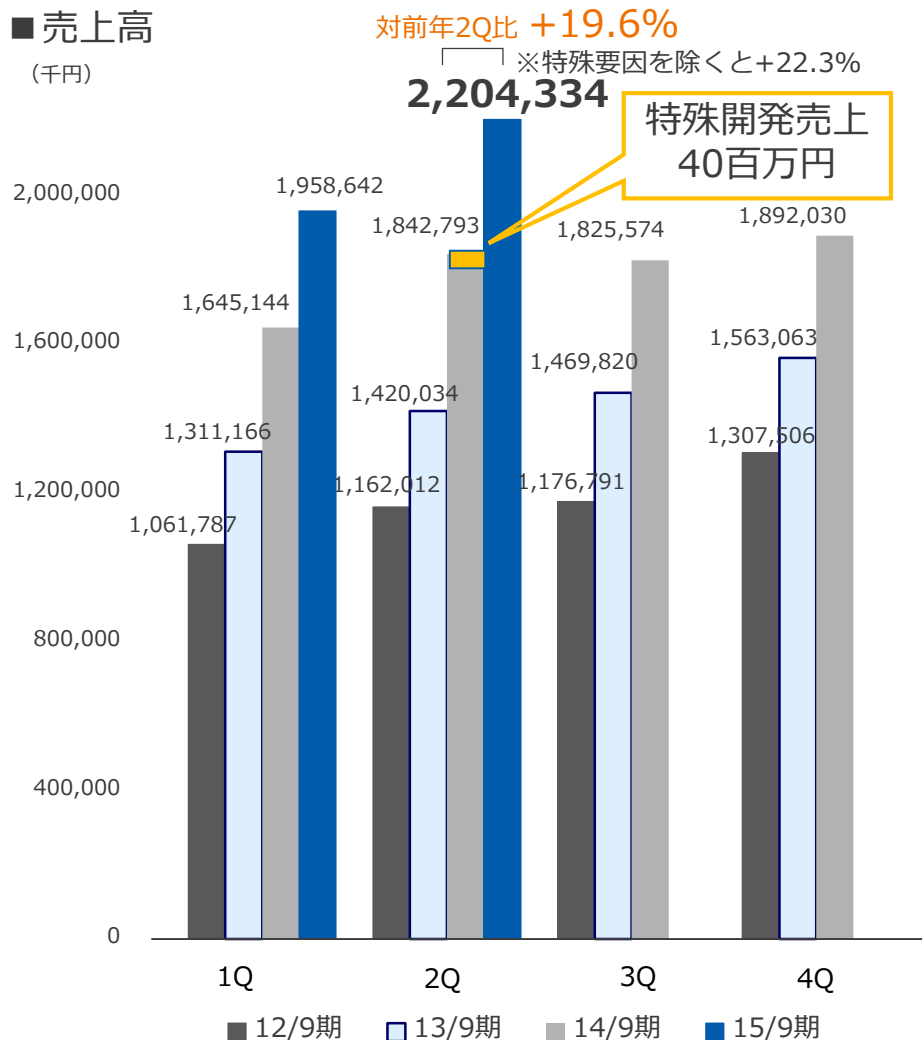
## 中長期的視野で実行した各種経営努力の成果



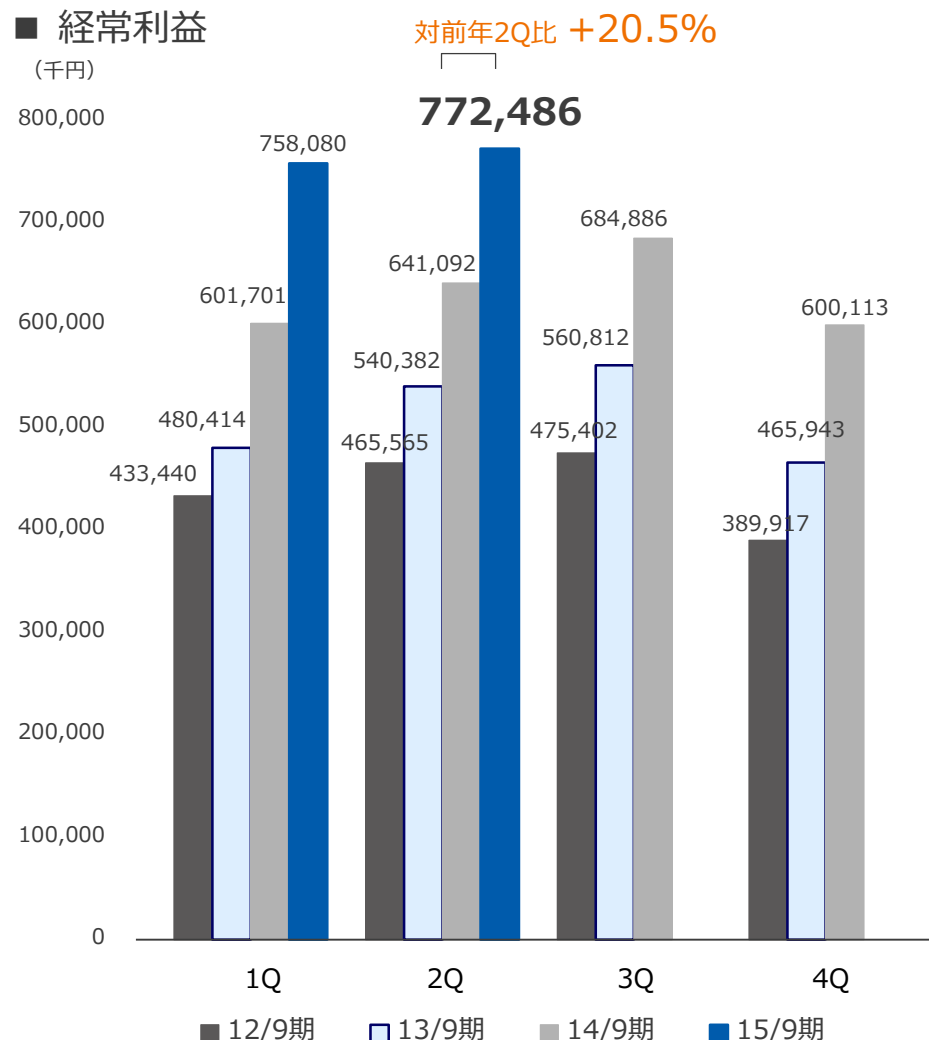
# 1.3 前2Q (1-3月) 比

## 増収率を上回り、経常利益20.5%増

■ 売上高  
(千円)

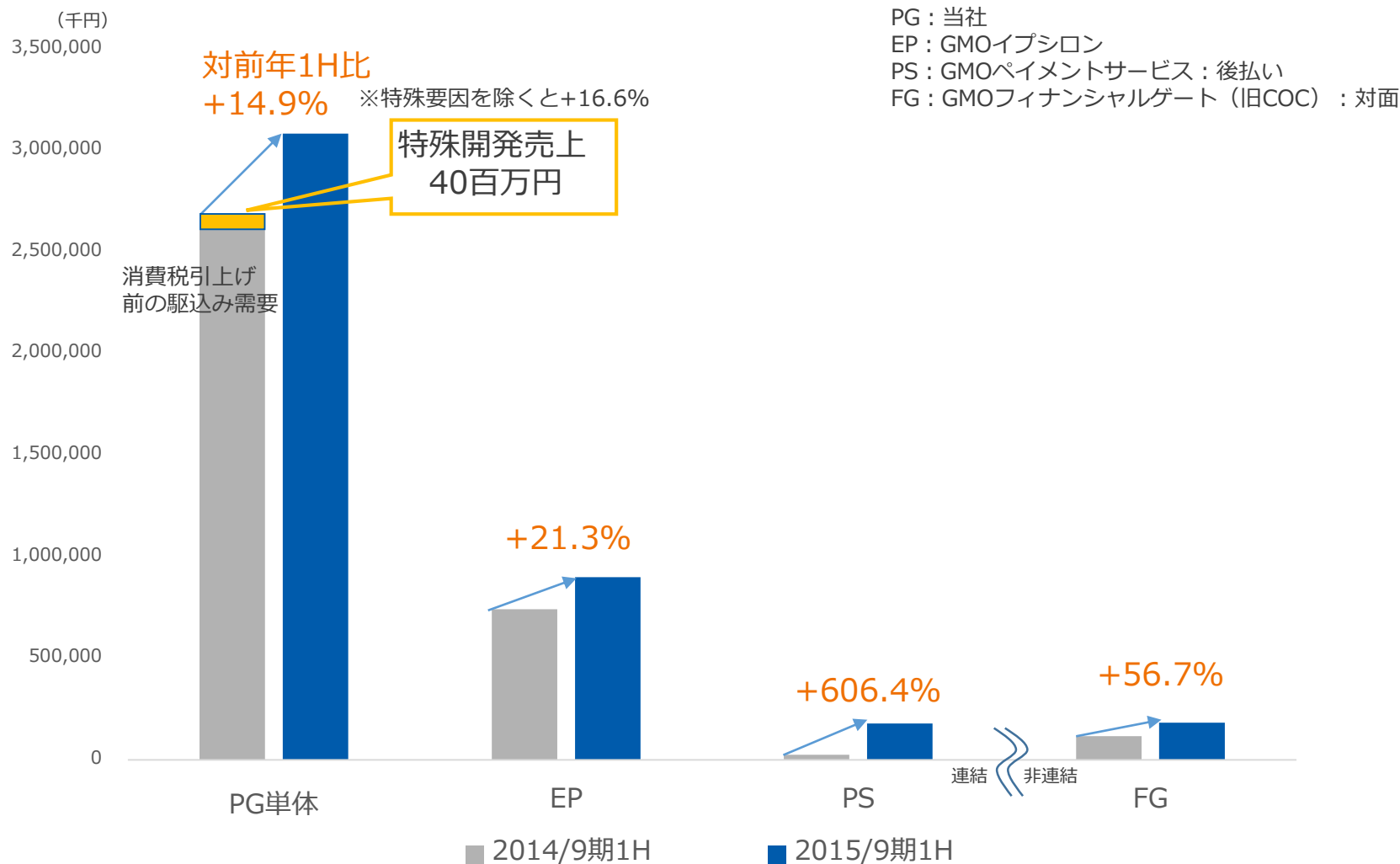


■ 経常利益  
(千円)



# 1.4.1 売上高推移 (PG単体・EP・PS・FG)

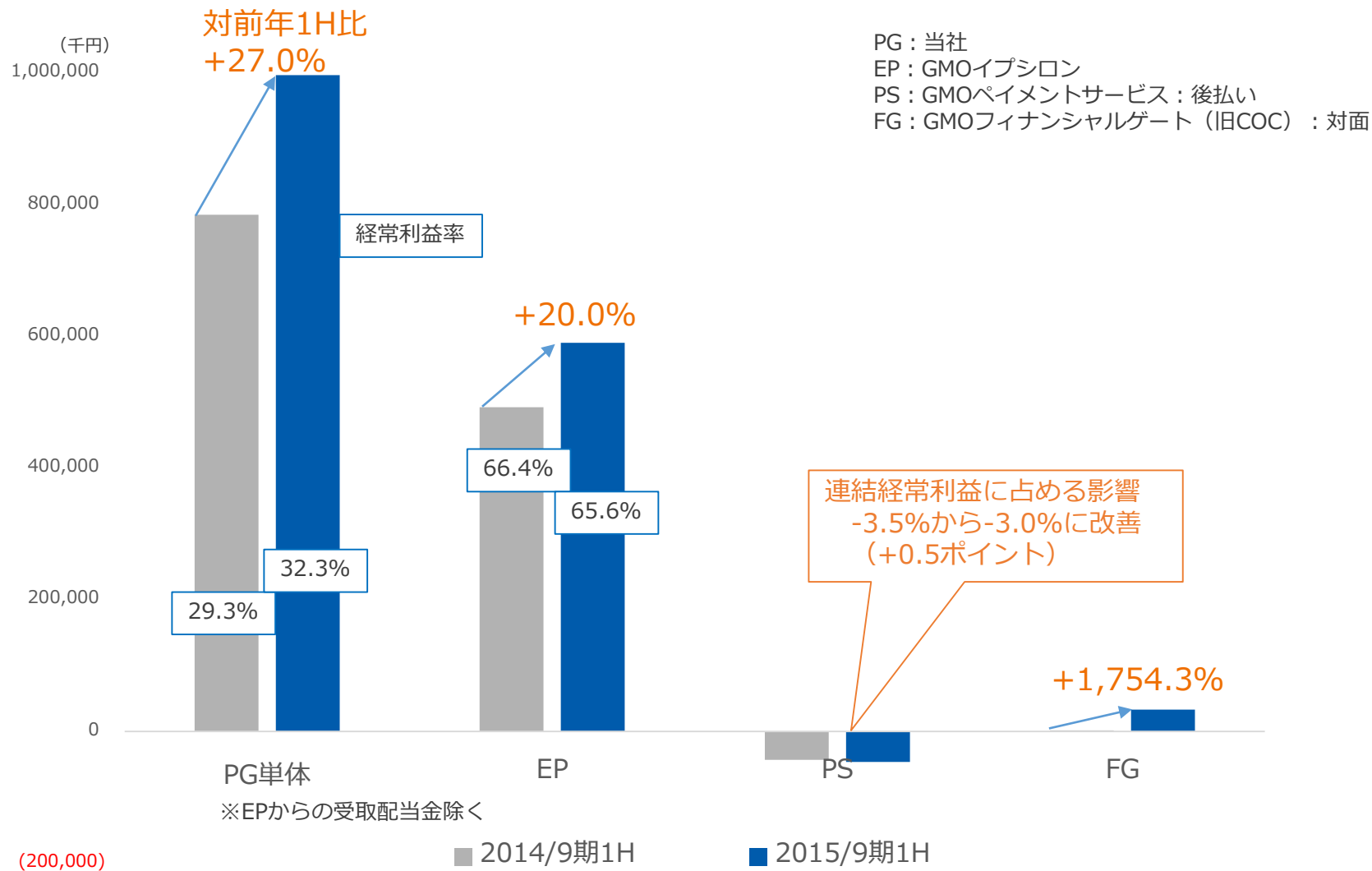
## 様々な経営施策の成果による増収増益





# 1.4.2 経常利益推移 (PG単体・EP・PS・FG)

## 様々な経営施策の成果による増収増益

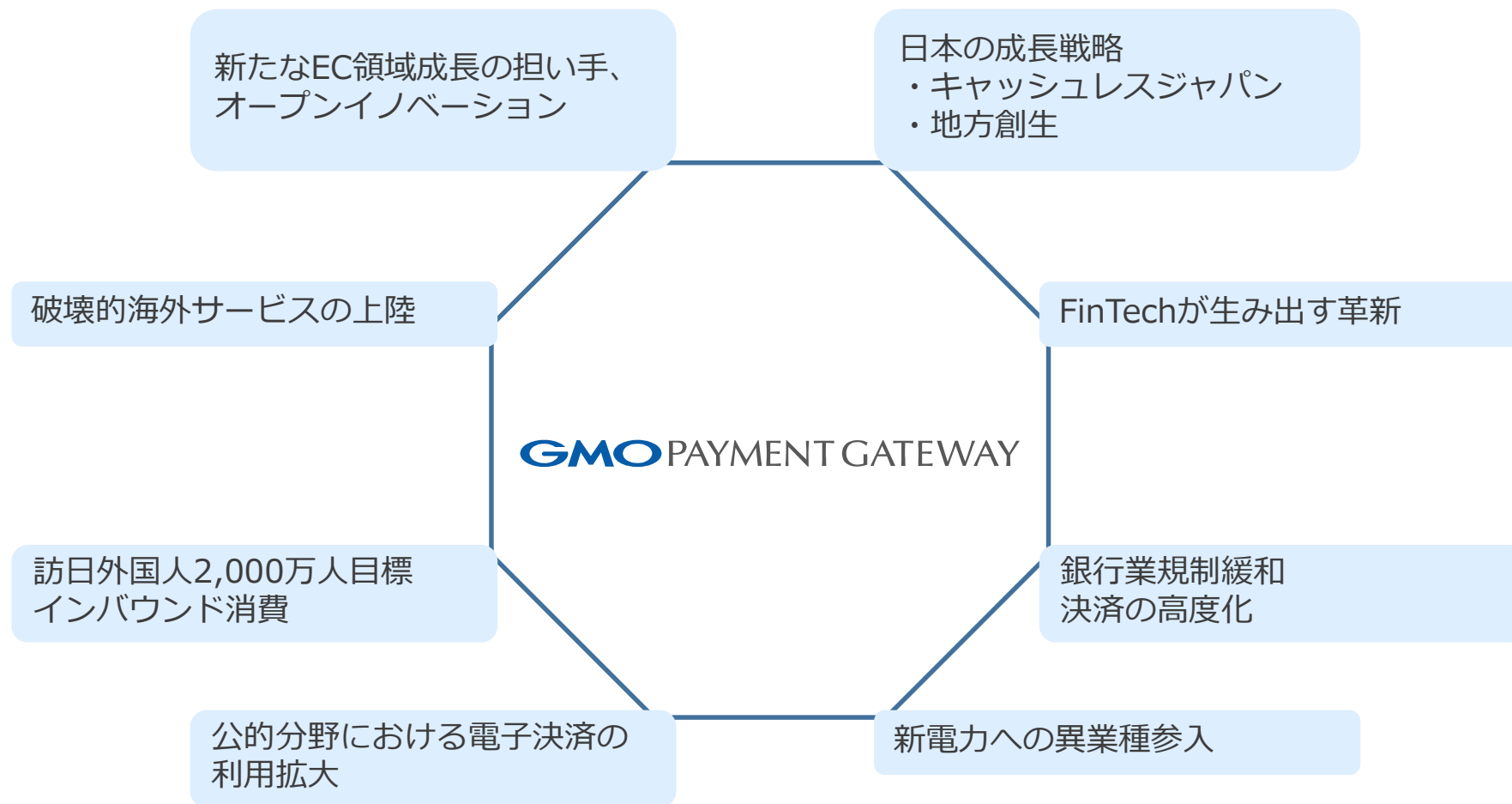


---

## 2.成長戦略の進捗

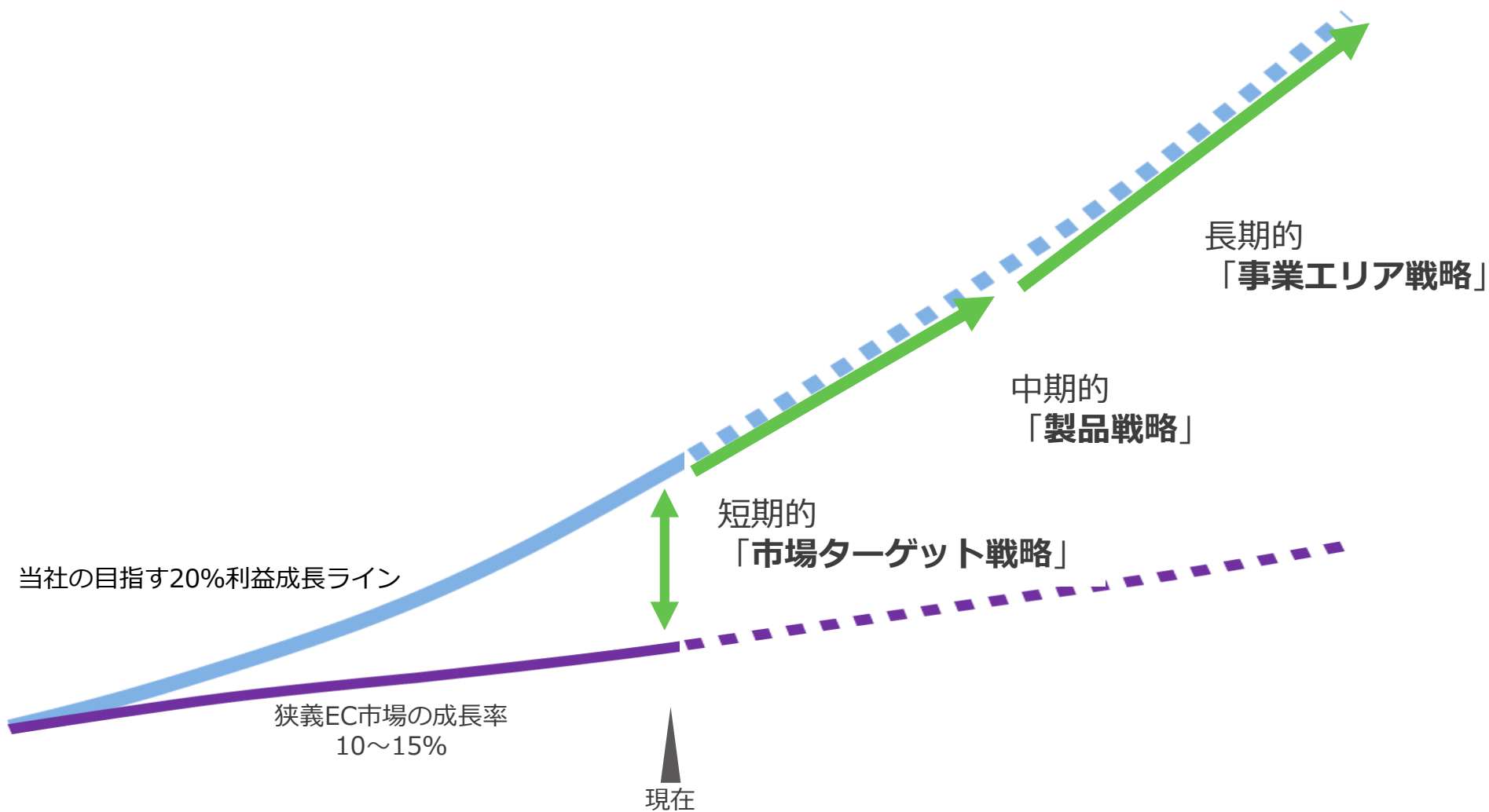
## 2.1 事業背景

### 当社の事業領域における構造変化・潮流



## 2.2 成長戦略

次の10年も20%の利益成長を継続するための成長戦略

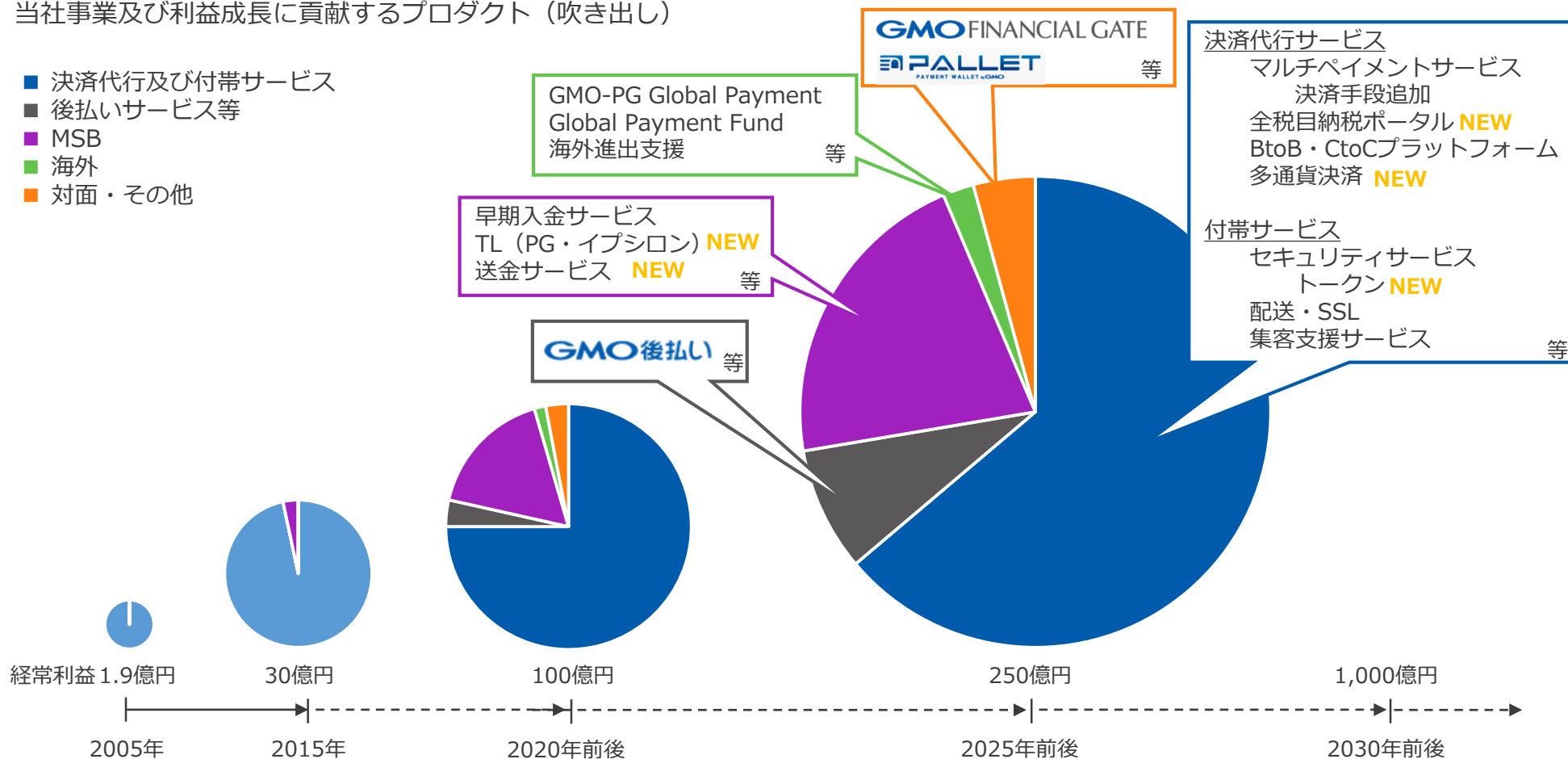


## 2.3 利益ポートフォリオ（イメージ）

### 2020年度前後の経常利益目標100億円を通過点として成長

当社事業及び利益成長に貢献するプロダクト（吹き出し）

- 決済代行及び付帯サービス
- 後払いサービス等
- MSB
- 海外
- 対面・その他

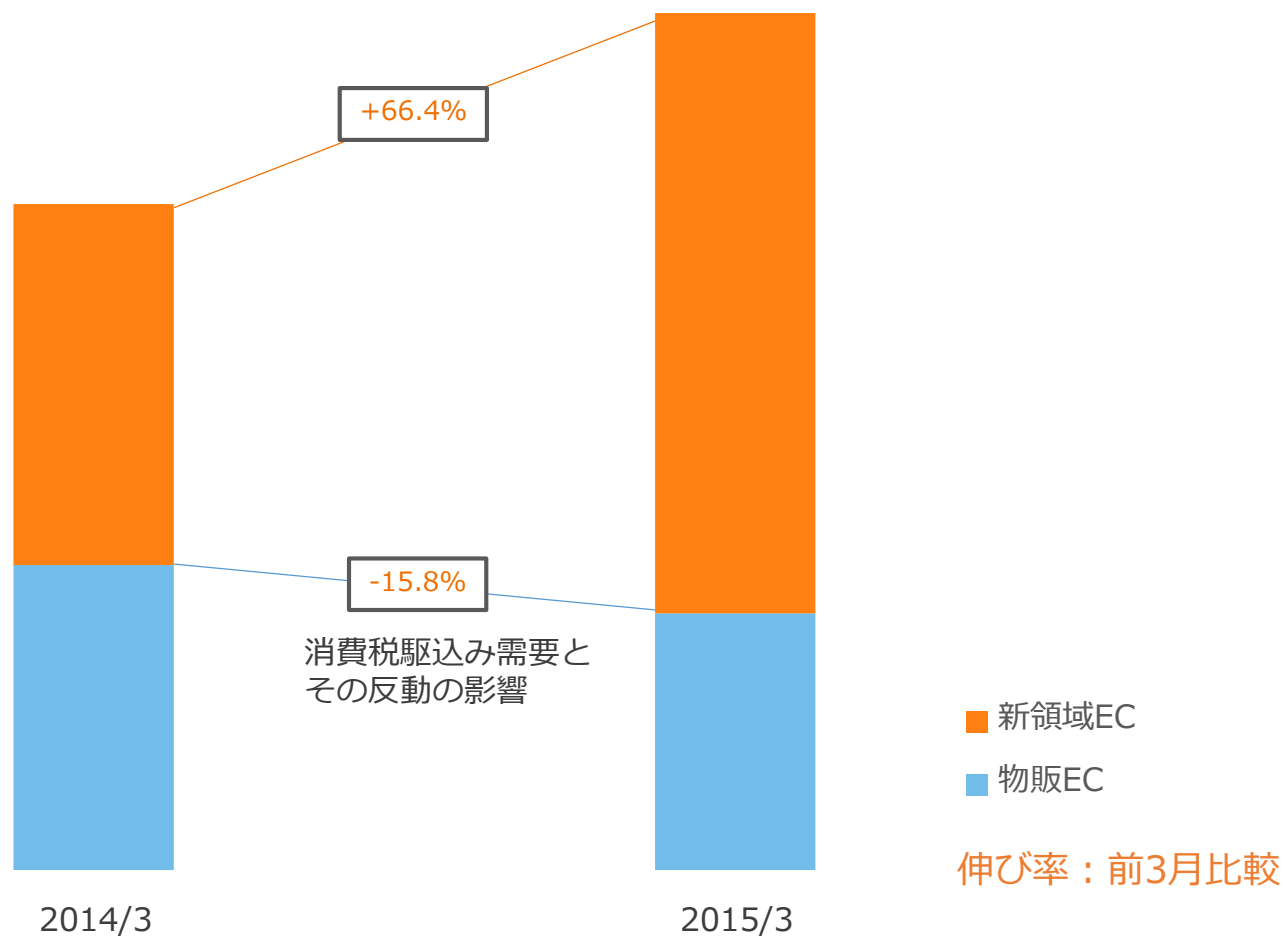


※経常利益：2005年度は実績値、2015年度は予想値、以降は経営目標  
 MSB：マネーサービスビジネス  
 NEW：2015/9期の成果

## 2.4.1 市場ターゲット戦略：新領域EC

### 新領域EC（サービス・コマース・デジタルEC・CtoC等）が急拡大

当社トップ50位の売上高（業種比較）※3月単月の比較



## 2.4.2 市場ターゲット戦略：対面市場

### 対面市場も事業拡大ステージに、GMO-FG（旧COC）に追加出資・CB転換

2010年1月 GMO-PGグループ参加



トランザクション件数（月間）：9倍

2015年4月

当社から追加出資を実行

- ・ 49.7%の持分法適用会社
- ・ PGによる累計投資金額：97百万円

VC数社の資本も導入

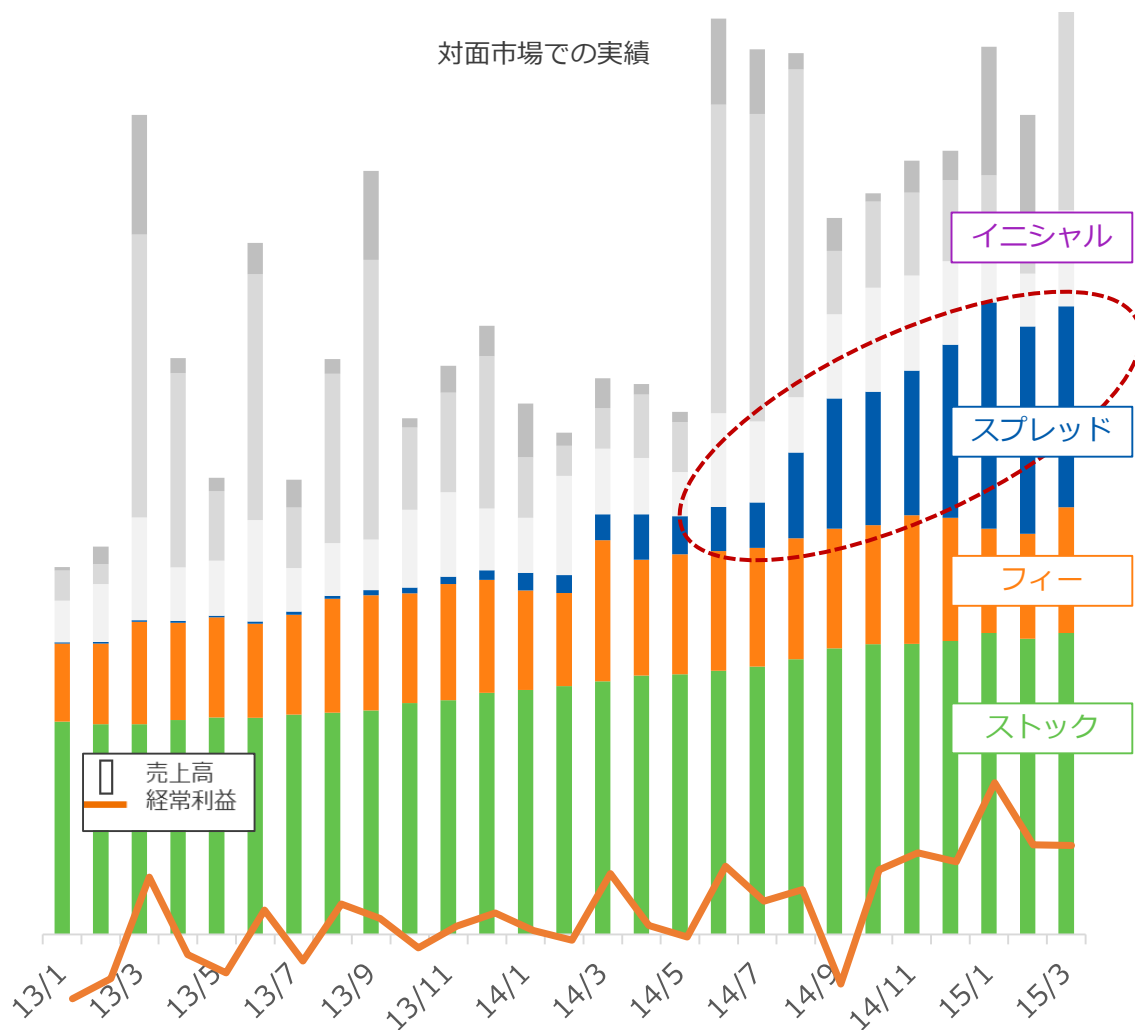
GMOフィナンシャルゲートに社名変更

**GMO** FINANCIAL GATE

加盟店例

- ・ 大手家具チェーン
- ・ 大手ゴルフ場チェーン
- ・ 大手クリニックチェーン
- ・ 大手飲食チェーン 等

対面市場での実績



## 2.4.3 市場ターゲット戦略：対面市場

成長領域にリーチ、スマホ決済やインバウンド（訪日客）消費を取り込み

**GMO** FINANCIAL GATE

スマホ決済取扱金額（指数）推移



※13/1Q数値を1として指数化

**GMO** PAYMENT GATEWAY

銀聯決済取扱金額（指数）推移



※13/1Q数値を1として指数化

Copyright (C) 1995 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.



## 2.5.1 製品戦略：公金・公共料金分野

約35兆円市場に当社プロダクトを投入、更なる巨大市場に展開

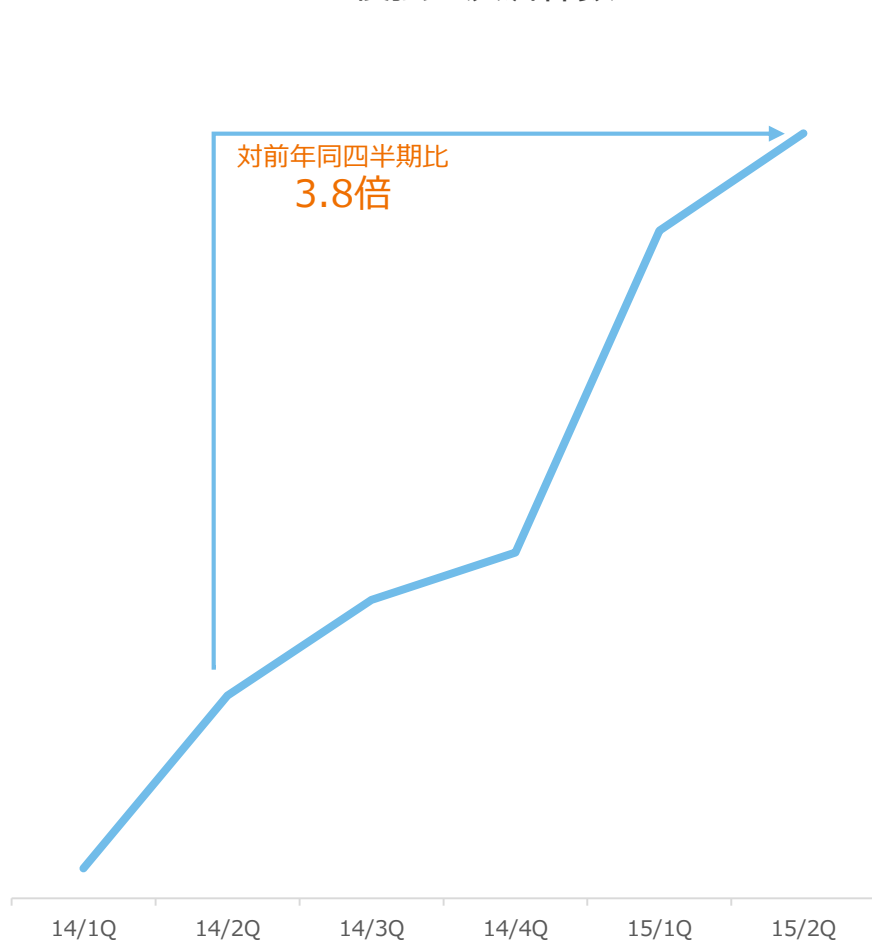


※出典：経済産業省「平成25年度電子商取引に関する市場調査」  
総務省「国税・地方税の税収内訳」

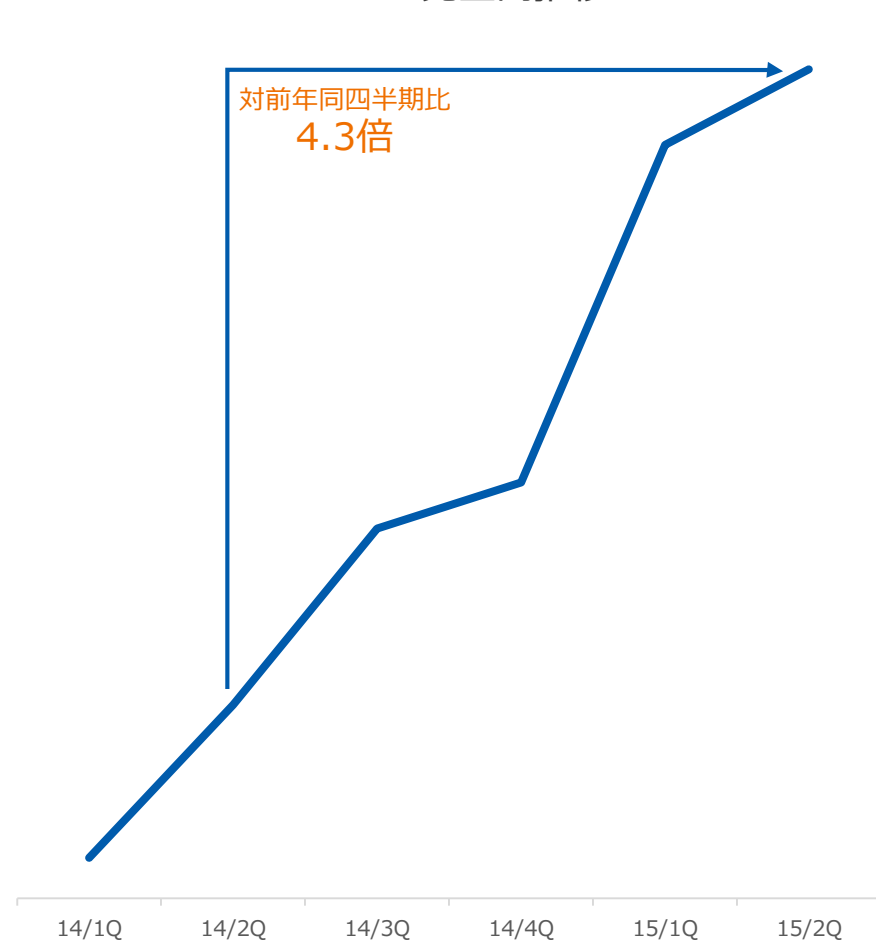
## 2.5.2 製品戦略：GMO後払い

### 独自の与信ノウハウにつながるトランザクションの蓄積

GMO後払い決済件数



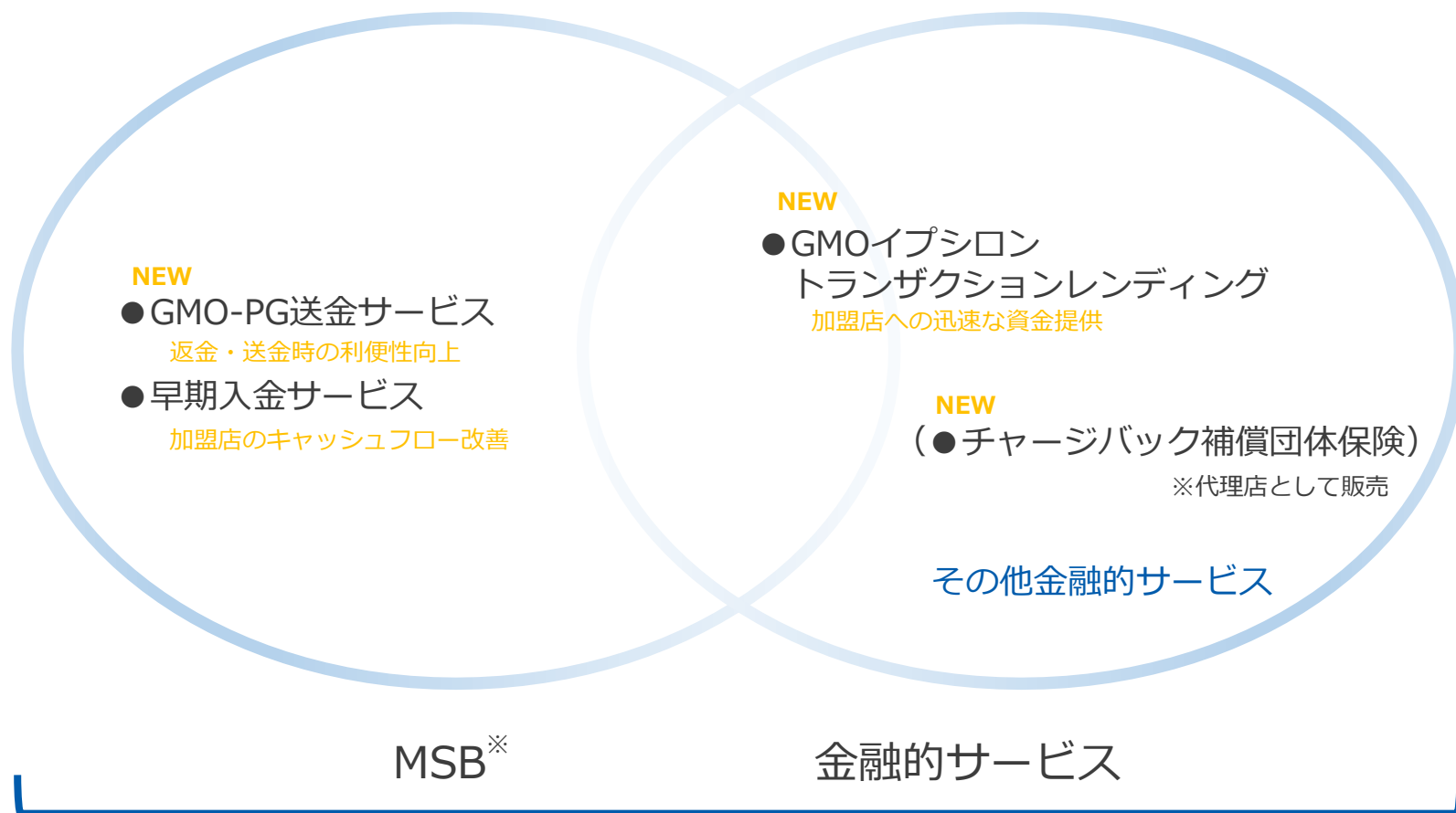
GMO-PS売上高推移



※「GMO後払い」はGMOペイメントサービス（GMO-PS）が提供しています

## 2.5.3 製品戦略：当社におけるFinTech

圧倒的な決済ボリュームをベースにデータを活用した新たなサービス

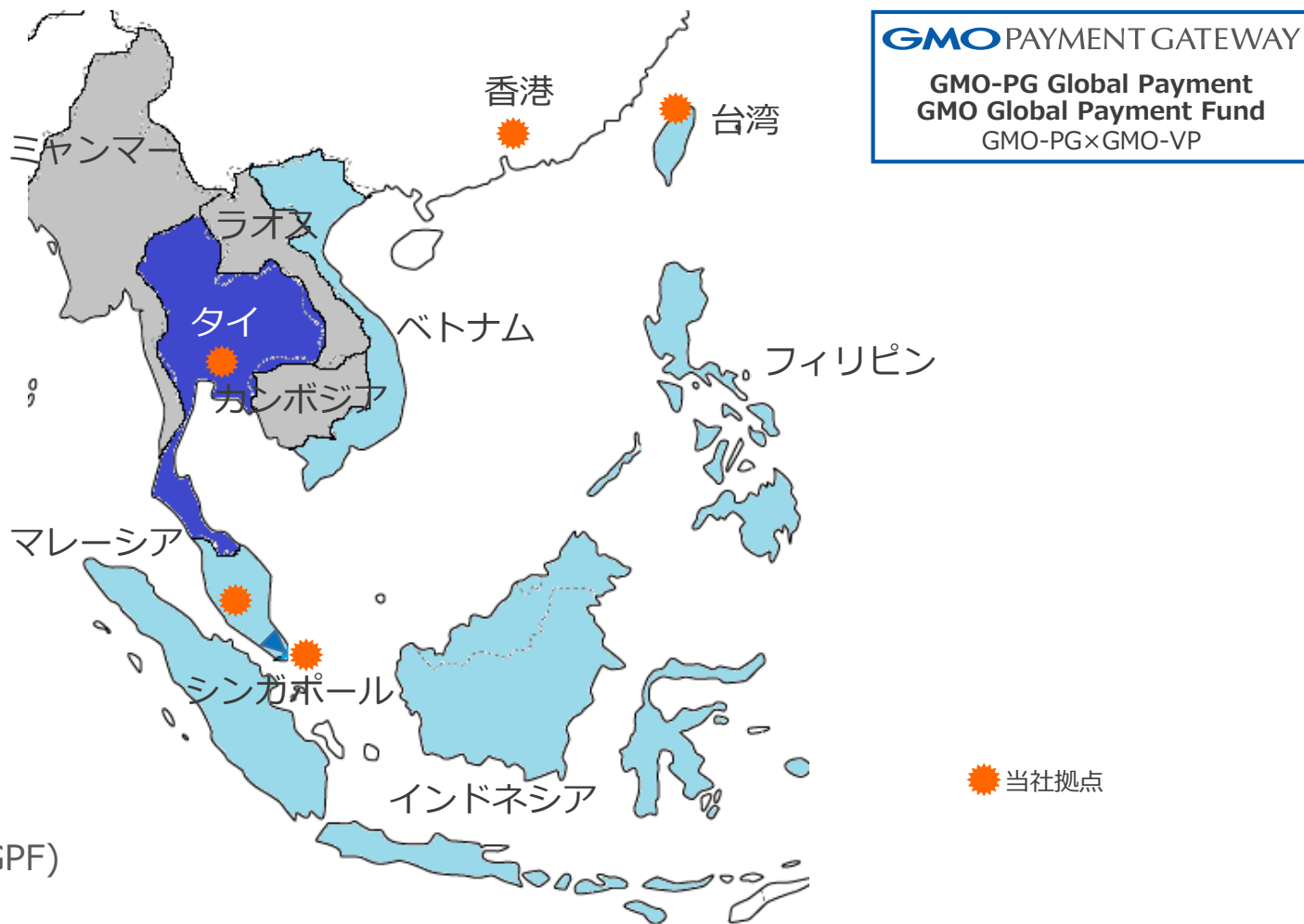


FinTech

※MSB：マネーサービスビジネス

## 2.6.1 事業エリア戦略：東南アジア諸国

### 国別の戦略進捗状況



## 2.6.2 事業エリア戦略：東南アジア諸国

### タイの大手決済代行会社2C2Pと資本関係強化 当社は外部筆頭株主に

2015年4月30日 2C2P Pte Ltdに追加出資を実施

追加出資額：200万USドル（約2.4億円）

累計投資額：475万USドル（約5.7億円）

初回出資 2013年1月

提供決済手段 クレジットカード決済/現金収納  
/プリペイドカード他

決済処理金額 約2,000億円（2014年）

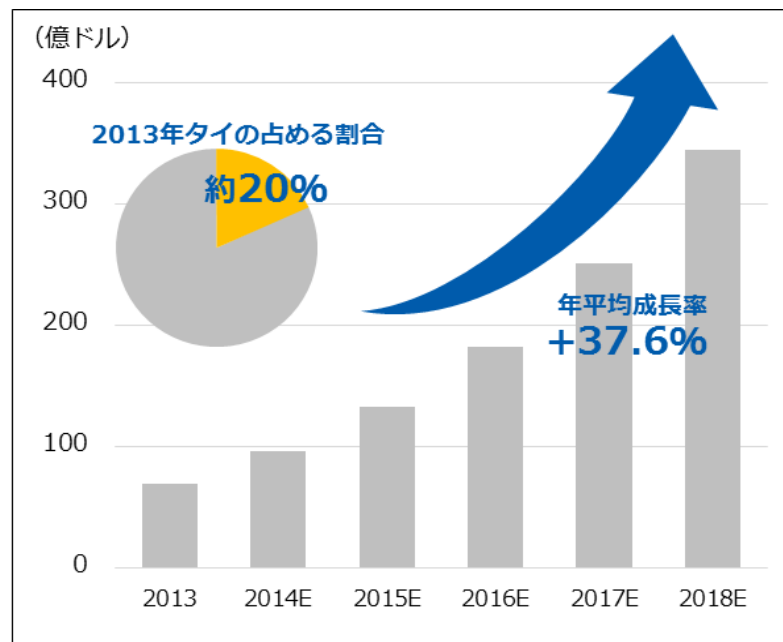
サービス稼動国 タイ ミャンマー ラオス カンボジア  
シンガポール インドネシア 他

社員数 約80名

収納代行サービス：Cash123  
タイ全土に6万箇所の現金収納ポイント



GMO PAYMENT GATEWAY



<東南アジア6カ国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）におけるeコマース市場規模、及びタイの占める割合>

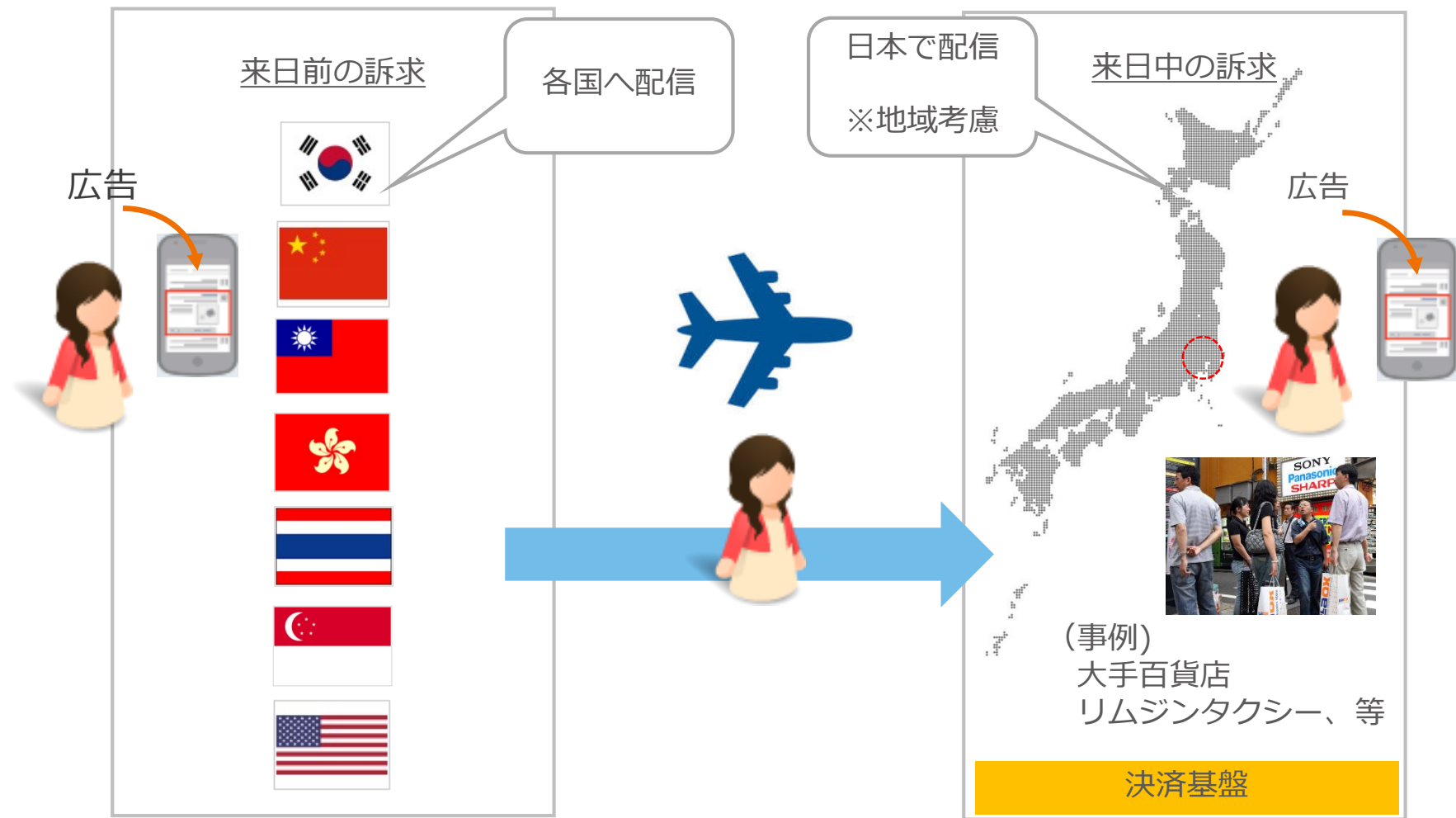
出典：フロスト&サリバン発表の東南アジアのeコマース市場（電子商取引）に関する分析より（2014年7月4日）

UBS「ASEAN eCommerce 13 June 2014」

Copyright (C) 1995 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.

## 2.6.3 事業エリア戦略：海外集客支援

### 訪日客に向けた国内外での広告配信の取組み



---

## 3. 財務ハイライト

## 3.1 連結業績サマリー

### 営業利益20.1%増、売上高営業利益率0.2ポイント向上

(百万円)	15年9月期1H		前期比		14年9月期1H		15年9月期		
	実績	構成比 (%)	増減額	前期比 (%)	実績	構成比 (%)	予想	進捗率 (%)	
売上高	4,162	100.0	675	+19.4	3,487	100.0	8,656	48.1	
売上原価	858	20.6	156	+22.2	701	20.1	-	-	
売上総利益	3,304	79.4	518	+18.6	2,785	79.9	-	-	
販売費及び一般管理費	1,817	43.7	270	+17.5	1,546	44.3	-	-	
営業利益	1,487	35.7	248	+20.1	1,239	35.5	2,974	50.0	
経常利益	1,530	36.8	287	+23.2	1,242	35.6	2,985	51.3	
純利益	937	22.5	218	+30.3	719	20.6	1,797	52.2	
一株当たり純利益 (円)	27円14銭				-	20円85銭	-	52円02銭	-

※2014/10/1付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2014/9期1Qの一株当たり純利益は、当該株式分割が行われたと仮定し算定しております。



## 3.2 連結貸借対照表

### 締め・支払サイクル多様化の影響はあるものの預り金64億円増加

(百万円)	15年9月期 2Q末実績	14年9月期 2Q末実績	増減
流動資産	29,178	21,464	7,713
現金及び預金	26,068	19,544	6,523
前渡金	943	680	262
その他の流動資産	2,290	1,273	1,016
貸倒引当金	△123	△33	△90
固定資産	2,734	1,891	843
有形固定資産	209	264	△55
無形固定資産	819	743	76
うちソフトウェア	673	537	136
投資その他の資産	1,705	882	822
うち関係会社社債	11	11	0
資産合計	31,912	23,355	8,557

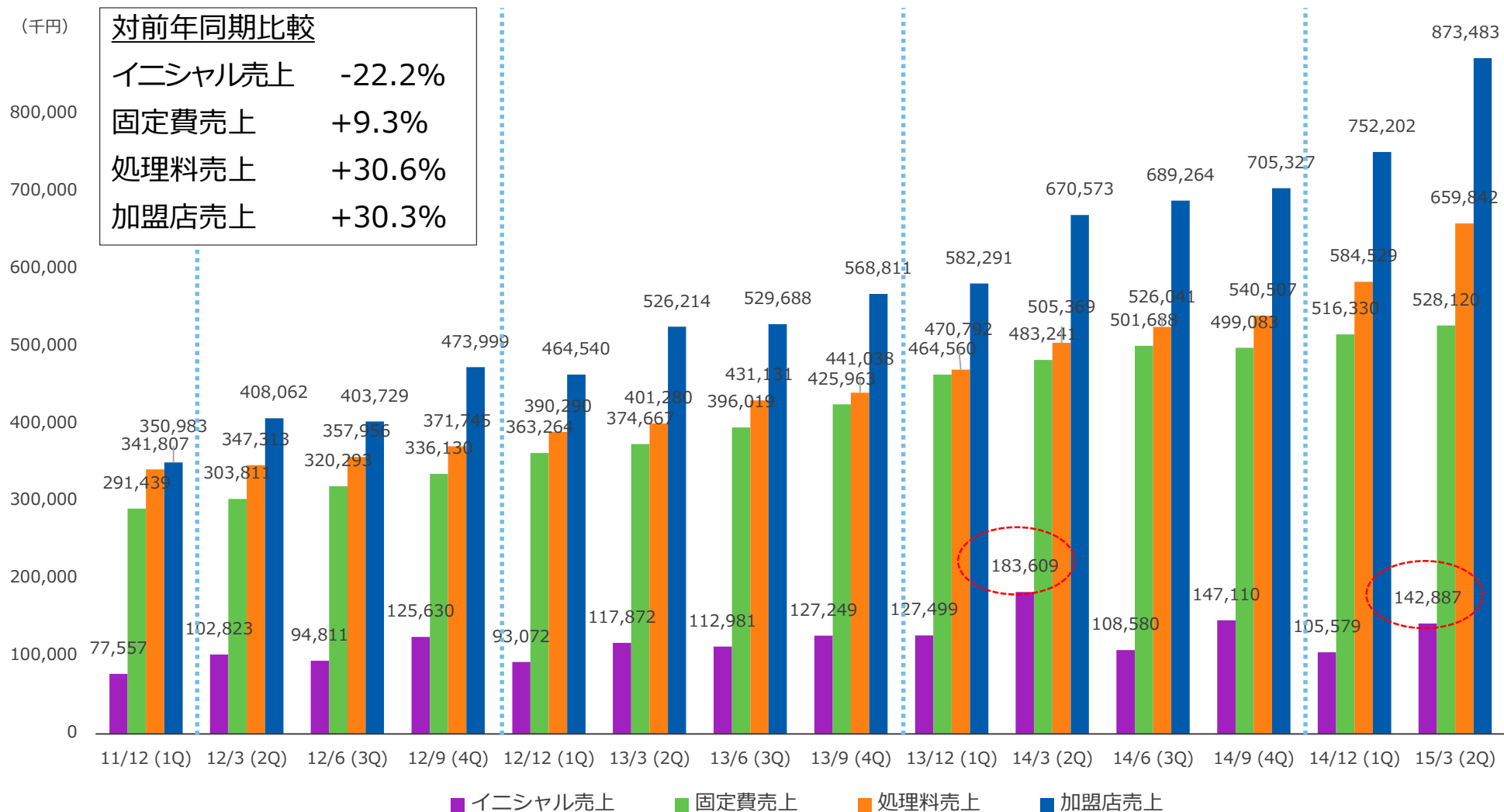
投資有価証券及びその他の関係会社有価証券の増加

(百万円)	15年9月期 2Q末実績	14年9月期 2Q末実績	増減
流動負債	24,470	17,223	7,247
預り金	22,166	15,731	6,435
その他の流動負債	2,303	1,492	811
固定負債	177	167	10
株主資本	7,150	5,927	1,222
その他の包括利益 累計額	110	32	77
新株予約権	2	4	△1
純資産合計	7,264	5,965	1,299
負債・純資産合計	31,912	23,355	8,557

代表加盟サービスによる加盟店の預り金  
※加盟店の締め日・支払サイクルの変化により加盟店売上の増加ペースと乖離が発生

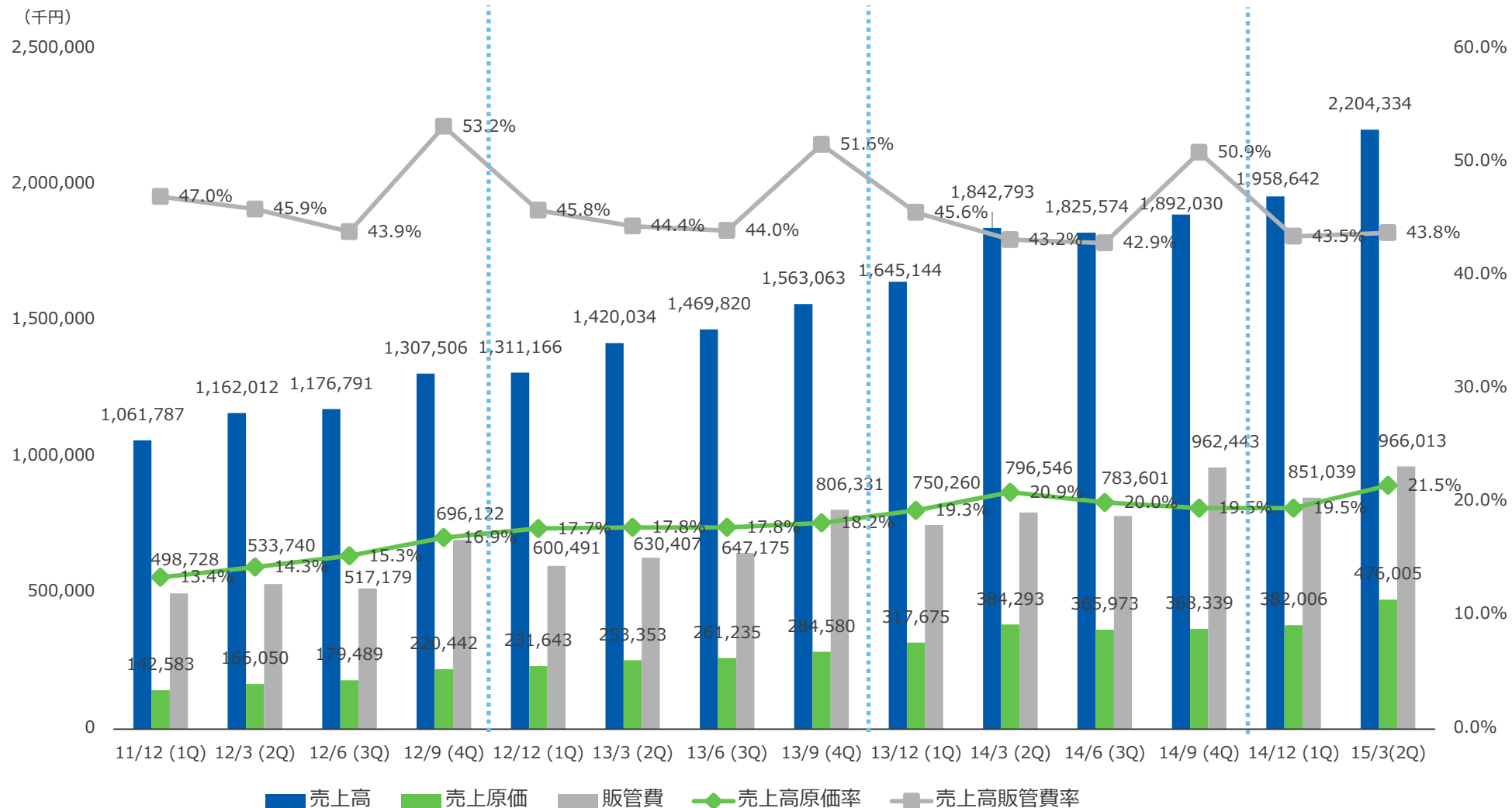
# 3.3 セグメント別売上（四半期推移）

## 処理料売上及び加盟店売上が好調、イニシャル売上マイナスも計画線上



# 3.4 売上高原価率・販管費率（四半期推移）

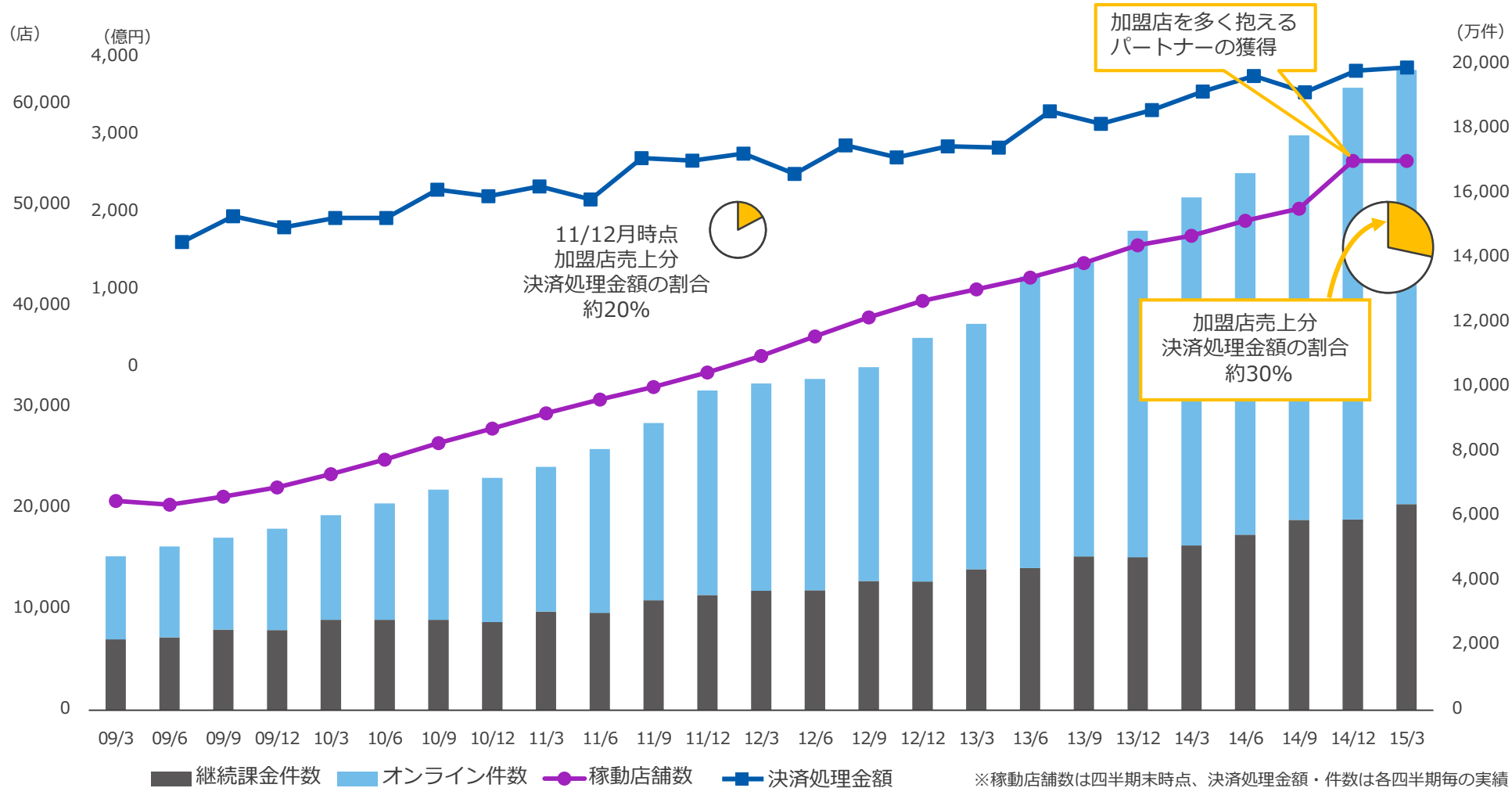
セールスマックスにより原価率は上昇も、各種経営施策で高収益性を持続



# 3.5 主要係数推移 (四半期推移)

## 稼働店舗数は1Q・2Qの特殊要因により前Q比フラット

稼働店舗数 54,470店、決済処理金額 約3,800億円、決済処理件数 約1億9,800万件

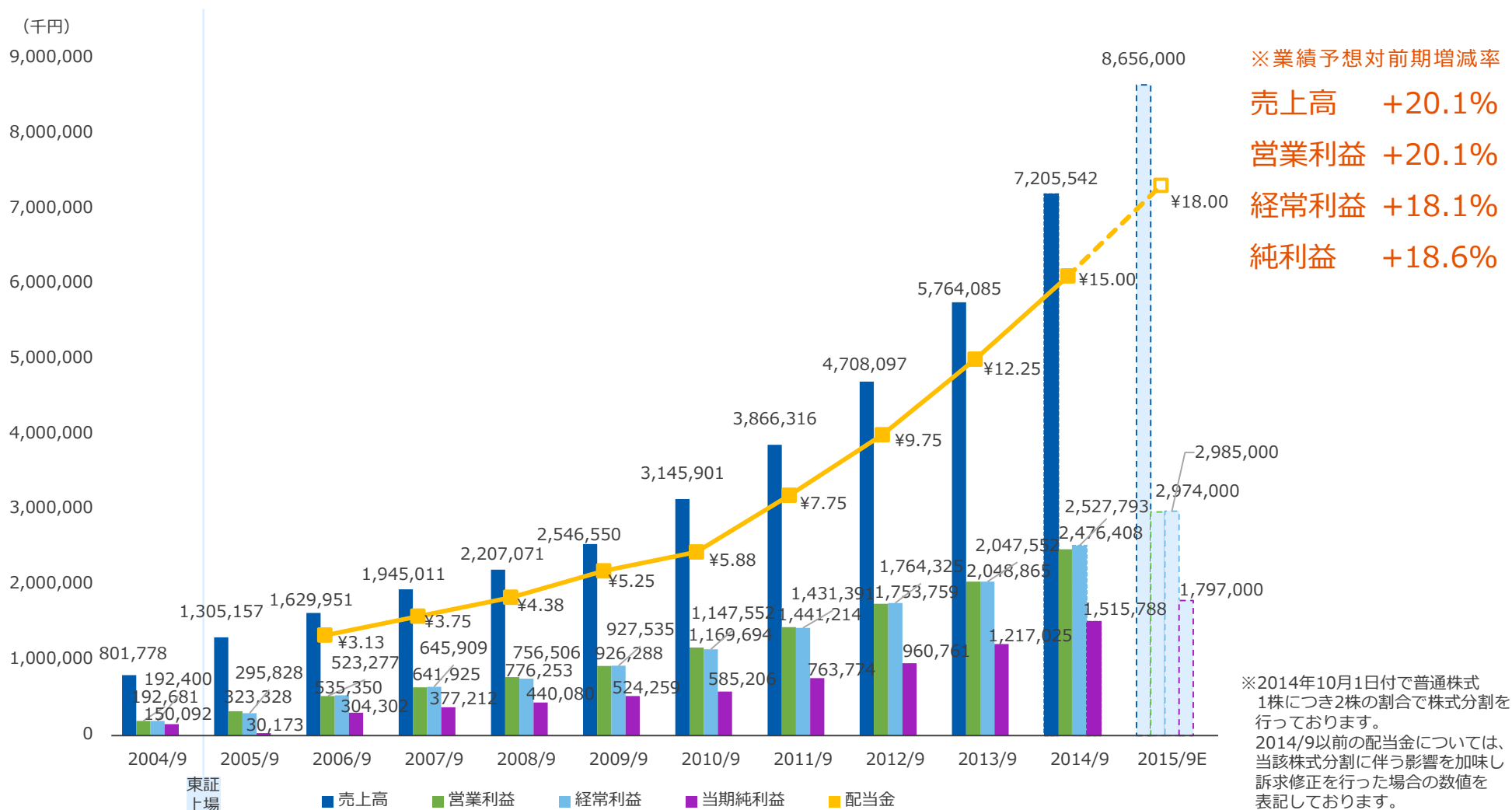


---

## 4. 2015年9月期の業績予想

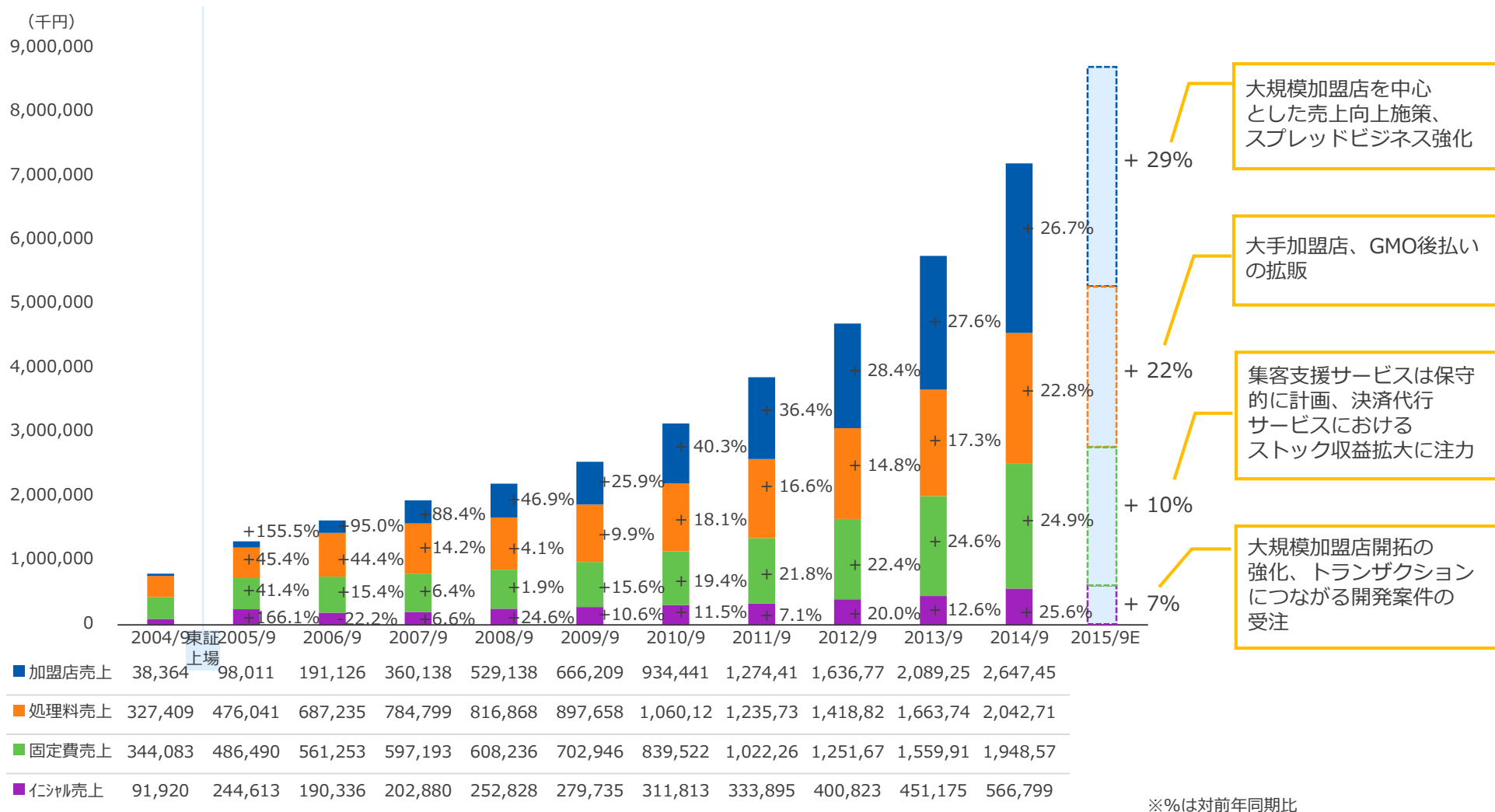
# 4.1 連結業績推移サマリー（2015/9期予想）

## 投資フェーズは更に続くため、営業利益成長率20%は据え置き



# 4.2 セグメント別売上（2015/9期予想）

## 各種施策によりバランスの取れた売上成長を目指す



# ありがとうございました

## **GMO** PAYMENT GATEWAY

---

GMOペイメントゲートウェイ株式会社  
(東証一部 3769)

IRサイトURL <http://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略統括本部 IR・広報グループまでご連絡ください。

IR・広報グループ TEL:03-3464-0182